

広陵町教育委員会だより

令和元年度 1月号 1月20日発行

広陵町教育委員会

北葛城郡広陵町南郷583-1

TEL0745-55-1001 文責・編集 植村



初春の初子(はつね)の今日の玉箒(たまばき)

手に取るからに揺らく玉の緒

1月の万葉集 巻20-4493 大伴 家持

(初春の初子の今日、お上から賜った玉箒を手にとると玉が揺らいで妙なる音を立てます。何とめでたい佳き日でありましょうか。)

今年1年、明るく光り輝く年に!



令和と元号が改まって初めてのお正月から早、3週間が過ぎました。昨年は、学校教育、子育て支援、生涯学習、スポーツ振興、文化財保存、図書館活動等の教育委員会における諸事業や様々な活動に、ご理解とご協力、そしてご援助を賜りましたことに心より厚くお礼申し上げます。今年も、昨年にも増してよろしく願いたします。

ところで、今年(2020年)は干支で言えば、庚子(かのえね)で次の新しい波を作り始める年だそうです。これまでを振り返りつつ、今後の道を計画する年でもあり、すごく前向きで明るい年でもあるようです。

今年の夏には、東京を中心にオリンピック・パラリンピックが開催され、選ばれしアスリートがこれまでに培った力を限界まで発揮してそれぞれのスポーツで競う姿は、私たち、観戦し応援する者にとって感動と歓喜の渦に巻き込んでくれると思います。また、世界中の多くの人々が日本を訪れるとともに「おもてなし」の心で外国の人々を迎え、接遇しながらお互いに交流できればさらにグローバル化が進み国際理解につながるのではないかと思います。日本で56年ぶりに行われる夏季オリンピック、パラリンピックです。数多くの感動の場面を期待するとともに日本の明るい未来のために、私たちにできることを考えていけたらと思います。

とにか、今年、2020年という節目の年であり、12支の初めの年でもありますので、明るくて心がわくわくする光輝く年にしたいものです。

十二支のはじまりは?



今年の干支(えと)は子〔(ね)ずみ〕で、十二支の最初の干支です。なぜ、子(ね)が十二支の最初になったのでしょうか。その由来の一つに、日本の昔話があります。

昔々の大昔、ある年の暮れに神様が動物たちに向かって言いました。「動物たちよ。元日の朝に新年のあいさつに来なさい。一番早く来たものから十二番目のものまで、順番にその年の守り神にしてあげよう」と。神さまから大事なお役目をもらえるというので、動物たちは張り切って元日を待ちました。

けれど猫だけは集まる日を忘れてしまい、鼠のところに聞きに行きました。「鼠どん、神さまがおっしゃった日はいつだったっけな。」

鼠は、猫が来なければ自分が選ばれると思って、「猫さん、神さまは一月二日に来るようにとおっしゃったよ。」と、答えました。

気のいい猫は、鼠のことをすっかり信じてしまい、元日の朝は寝ていました。

さて、動物たちは元日の日の出とともに神さまのところへ向かいました。足の遅い牛は夜のうちに支度をして出かけました。鼠は先頭を歩いている牛の角につかまって行き、もう少しというところで飛び降りて、一番に神さまのところへ行きました。続いて牛がやってきて、虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順番で神さまのもとにたどり着きました。

猫は元日の朝にたっぷり寝坊をして、翌日の朝早く神さまのところへ行きました。ほかの動物たちが来ていないので、てっきり自分が一番だと思い、「神さま、わたしが一番ですね。大事なお役目をいただけますか」と、いいました。

神さまは、すこしあきれたような顔をして、「猫よ、わしは元日に来るようにいったはずだよ。残念だが年を守る役目はすっかり決まってしまった。顔を洗って来い。」と、いいました。それで猫は鼠にだまされたことを知り、じだんだをふんでくやしがりしました。

それから猫は鼠を見るとつかまえ、顔を洗うようになったということです。

このような昔話は、絵本でも数多く取り上げられています。小さなお子様に、絵本を通して語っていただけたらありがたいです。



教育委員会の取組

北小学校の洋式化トイレが完成!

西小学校と北小学校で8月後半から進められていたトイレの改修工事で、北小学校の工事が17日に終わりました。衛生的で



使いやすいトイレとして洋式化、乾式化(洗浄機付き)を目指し、完成したことは教育委員会にとって、

大変喜ばしいことで、北小の子どもたちも喜んでくれるだろうと思います。今月末には、西小のトイレ工事も終わる予定です。教育委員会として、今後も子どもたちのために生活しやすい環境整備に努めてまいります。



第5回ソフトバレーボール大会を開催！

昨年(12月14日(土))に町ソフトバレーボール大会が広陵中央体育館で開催されました。町スポーツ推進委員会と総合型地域スポーツクラブの広陵ステーションプラス1クラブとの共催で開かれ、今回で5回目になります。



午前8時30分から開会式が行われ、私は開会のあいさつとともに「お互い、優勝目指してがんばってください」とエールを送りました。

77人参加の下、親子の部・成人の部に分かれて熱戦が繰り広げられました。成年の部には、北小学校、真美ヶ丘第二小学校の先生方もチームを組んで参加してもらい、大いに盛り上がった大会となりました。結果は以下のとおりです。

- 親子の部** 優勝：ばいきんまん 準優勝：カビルン
3位：だだんだん
- 成人の部** 優勝：Candies 準優勝：INUIS
3位：Seek

第61回町民マラソン大会が開催される！

1月12日(日)、第61回町民マラソン大会が開催されました。9時30分から中央公民館前で開会式があり、増田体育協会会長、山村町長、谷副議長のあいさつで、参加者への励ましやけがなく無事に完走してほしいことなどのお話がありました。若干、雨の心配もありましたが、参加された約200人の「これから、走るぞ」との熱い想いが天に通じたのか雨も降らず、あまり寒くもないコンディションの中、10時に山村町長の号砲で中学生女子と30歳以上40歳未満の女子の部がスタートしました。その後、年齢で区分された成年男女や



山村町長の号砲

中学生男子、3・4年生男女がスタート、ゴールする中、最後には3月7日(土)に開催される第15回市町村対抗子ども駅伝の選手選考を兼ねた5・6年生男女のレースがスタートし、家族など



の声援を励みに、持っている力を思う存分発揮してそれぞれがすばらしい走りを見せてくれました。

5・6年生のスタート

20歳の誓いで、人生を新たに！

1月13日(月)成人の日に、令和2年の成人式が広陵中央公民館かぐや姫ホールで盛大に開催されました。今年、町内で成人になられたのは388人で、当日何らかの理由で出席できなかった人を除いて、約300人の新成人が会場に参集していただきました。まずは、オープニングイベントとして広陵金明太鼓の皆さんが、勇壮かつ心にしみる2曲の和太鼓演奏をしてい



ただき新成人へのお祝いの気持ちを伝えていただきました。この式は、広陵中学校、真美ヶ丘中学校の卒業生から選ばれた13人の実行委員が様々な案を基に手作りの企画で進めてくれました。特に司会を担当した植村康平さん、西村真由さんは司会原稿をただ読むだけでなく、臨機応変なアドリブも含めて、とても上手に式を進行していました。

山村町長は式辞の中で、作家の伊集院静さんの「君の身体の中にある夢を、情熱で、君だけの大人を獲得するんだ。……真の大人は自分だけのために生きない。品性を得ることは人生の最高の宝物だ。」という言葉が引用され、皆さんもまさに今日から、「自分がどんな大人になるのか」「そのためにはどうしたらよいか」、一人一人が自ら問いを立て、自ら答えを求めて邁進し、自分が考える大人像を見つけて行動してほしいと話されました。

私は、お祝いの言葉で、今年のラグビーワールドカップ日本代表が「ONE TEAM」の合い言葉で悲願のベスト8になったことを取り上げました。失敗を恐れず何事にもチャレンジすること、これからの人生において困難な壁にぶつかったとき、仲間や家族、友人など多くの人に相談して協力をもらい一枚岩となって解決し、成長してくださいとエールを送りました。

二十歳の誓いでは、楠城峻さんが、これまで育ててもらった家族や友人、先生方、地域の人たちへの感謝の気持ちと社会人としての仲間入りを果たしたことを自覚し、一つ一つの言動に責任を持ち、自分の目指す目標に向かって日々努力していきます。そして各々の夢に向かって邁進し続け、令和という新しい時代を切り拓き、未来を明るく照らす人物になれるように努力することを誓いますと凛とした態度で話されるとともに確固たる決意を新成人の代表として表明されました。

その後、「共に過ごした中学校時代を振り返ろう」という企画で中学校の恩師のビデオメッセージに一喜一憂したり、それぞれの校歌を懐かしく歌っていました。また、実行委員にも知らされていないサプライズ企画として、奈良市出身の三戸なつめさんからのビデオメッセージがあり、広陵町の新成人に心のこもった熱いエールが送られました。

